



子どもと言葉遊び

川 越 ゆ り



子どもは言葉で遊ぶ



1. 言葉遊びの種類

① 言葉の音を楽しむ言葉遊び

例) しりとり、言葉集め、オノマトペ
遊び、名前の逆さ読みなど



続き

②表現を楽しむ言葉遊び

例) なぞなぞ



なぜなぜ

- ・日常見慣れた対象を、いかに斬新に表現するかがポイント

⇒ 答えより問いが重要



2. なぞなぞの手法 1) 比喩

① 世界一大きな水族館はなあに？

答え) 海

⇒ 答えの対象を何かにたとえる



伝承のなぞなぞ

この箱には
鍵もふたもありません。

でも、なかには、
金色の宝が入っています。

これなあに？

(イギリス)



2) 擬人法(比喻の一種)

- ② 紫の赤ちゃんがおおぜいでおしくらまんじゅう、これなあに？
答え)ブドウ

⇒ 擬人法

(答えの対象を人にたとえる)



伝承のなぞなぞ

双子の兄弟、
おんなじ背丈、
ごはんを食べると
すもうをとる。
これなあに？

(中国)

3. 幼児の言語表現に見られる 比喩・擬人法

- ママ、雪の骨、見つけた！
いっぱい 骨 あるよ！

(年少児)



続き

(雨上がり、オレンジ色の空を見て)
ゼリーの中みたい！

(年長児)



続き

(窓から見える山の木々が風で揺れているのを見て)

ももちゃんに、おいでおいで してるよっ。
いっしょに おどりたいのかなあ。

(年少児)



子どもの言葉には 言葉遊びの芽がいっぱい

- ママ、雪の骨、見つけた！
いっぱい 骨 あるよ！

⇒ 冬になると外にたくさんぶらさがっている
雪の骨、なあに？ 答え：つらら



たくさんの「なぜ？」

どうして朝がくるのかな？

にわとりさんが つれてくるのかな？

太陽さんが ニコニコして

つれてくるのかな？

(年中児)



続き

⇒ 太陽さんがニコニコしながら毎日
連れてくるものなあに？

答え：朝



4. 言葉遊びワーク

「みかん」⇒おかん(悪寒)、きかん(帰還)・・・

「メロン」⇒マロン、いろん(異論)、メロス・・・

「いくら」⇒おくら、まくら・・・

- ・みかんのきかん
- ・メロンを食べるメロス
- ・いくらのおくら

ポッケ

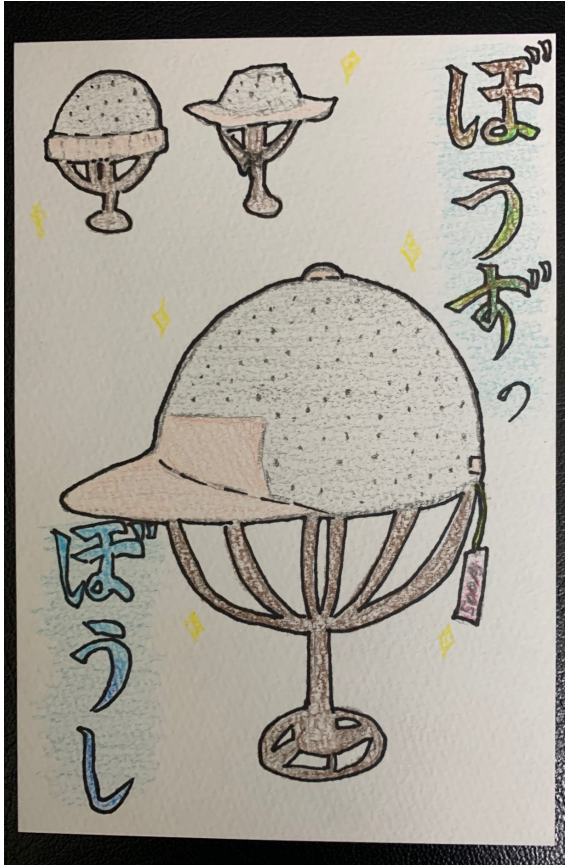
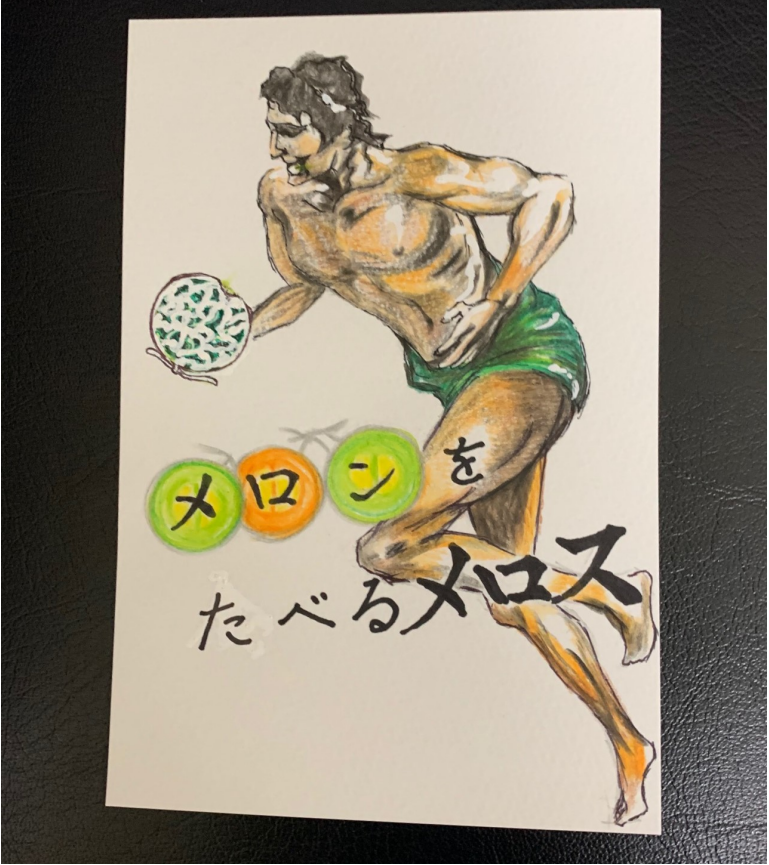
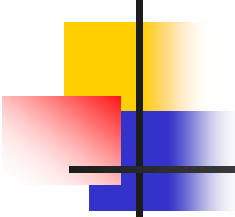


の
中に
ホッケ











5. 言葉遊びの魅力

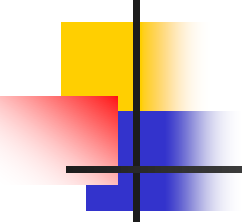
- 日常⇒伝達的手段としての言葉
(意味優先)



言葉の「意味」ではなく 「音」を優先すると・・・

⇒ ナンセンスの世界、
奇抜なアイデア



- 
-
- 日常とは異なる言葉のおもしろさを体験



引用・参考文献

池上嘉彦(1982),『ことばの詩学』 岩波書店.

熊田広樹(2018),「『言葉に対する感覚』に焦点を当てた保育者養成短期大学における授業実践—保育内容演習(言葉)における取り組み—」
旭川大学短期大学部紀,(48),21-36.

学校法人諏訪学園 諏訪幼稚園(2004),『お諏訪の杜の物語』 学校法人諏訪学園 諏訪幼稚園.